



よこすか市議会だより

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

No.34

令和元年(2019年)
11月27日号

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



関東学院大学実習生の受け入れ：関東学院大学との包括的パートナーシップ協定に基づき、毎年関東学院大学の学生をインターンとして受け入れています。2名の学生が、5日間いくつかの会派をまわり、政策づくりの議論や施設の実地調査など日常の議員の活動を体感しました。



台風被害に対応し、臨時議会を開催

9月定例議会

令和元年9月定例議会を8月30日から10月7日までの39日間で開催しました。各議員による一般質問は4日間に行いました。市長から提出を受けた令和元年度の一般会計補正予算(第2号)や平成30年度の一般会計決算など30件の議案を審議し、いずれも可決・認定・同意しました。また、請願3件と陳情6件に対し議会の意思を示しました。

10月臨時議会

9月8日から9日にかけて本市を通過した台風15号の影響により、市立鴨居保育園の本園舎が損壊しました。鴨居小学校内で臨時的に保育していますが、法的基準と保育環境の面で長期継続は難しいと判断されました。

このため、10月21日に臨時議会を開催し、新園舎の整備に関する補正予算議案を審議しました。議案は、本会議での質疑や委員会での審査を経て、全会一致で可決しました。

なお、市内では台風19号による被害もあり、台風15号の他の被害対応と併せて11月20日にも臨時議会の開催を予定しています(11月15日現在)。今後も、自然災害被害への緊急対応等、必要があれば遅滞なく議会として対応していきます。

9月定例議会・一般質問

二見英一 議員 公明党

横須賀初！消防用ドローンの導入を

問 消防用ドローンの機動力は災害現場や救助活動時に迅速に広範囲な情報を収集でき、現場の確かな把握に最適とされている。新たな消防体制の基盤強化として、消防用ドローンの導入をすべきと思うが、いかがか。

答 ドローンの消防活動への有効性を踏まえ、導入に向けた研究を実施していきたい。

問 本年4月の障害者手帳の様式などを定めた厚生労働省の省令改正を踏まえ、中核市の判断で既存の紙の手帳から免許証と同等のプラスチック製のカードタイプへ変更できるようになった。本市が発行する身体障害者手帳もカード化への流れに対応すべきではないか。

答 県や政令市と時期を合わせて、カード型を選べるように準備を進めていきたい。

木下義裕 議員 無会派

中学校完全給食、英語の授業改善

問 より積極的に、中学校完全給食が実施されること、そのものを広報していくべき。

答 今後も中学校完全給食の開始に向けて、節目ごとに広報していきたい。

問 教科書を繰り返し、学ぶ英語学習の「5ラウンドシステム」が日本全国に広がり、導入した学校では、生徒の英語力は高く、英検の取得率もかなり高い結果が出ています。

答 今後、英語教育の「5ラウンドシステム」の導入の可能性については、本市がこれまで取り組んできたものとの融合ができるのかを検討し、よりよい英語教育について引き続き検討を行いたい。

高橋英昭 議員

少子化対策の推進について

問 実効性のある少子化対策には目標設定も重要。

でなく、現実的な出生数を目標値に加えてはどうか。

答 まずは、現在の数値目標の達成に向けて、取り組んでいく。

問 今の出生数はおよそ2,000人。今年の成人式の約半分の数だ。なぜ、子どもの数が減ったのか、考えるきっかけとしても出生数を目標に加えていただきたい。

答 市に新しい付加価値

加藤眞道 議員 自由民主党

海洋都市構想とまちづくりについて

問 海洋産業創出に向けての取り組みは。

答 積極的に海を活用した産業誘致を進めていくべきと考えている。本市は海に対するポテンシャルが非常に高いことから新たな産業を創出し、海洋都市構想の実現につなげていく。

問 海洋プラスチックごみ対策が必要ではないか。

答 海洋都市ヨコスカとして

石山 満 議員 公明党

訪問型産後ケア導入について

問 訪問型産後ケアの検討状況は。

答 本事業の導入について大変有意義なご提案を頂いた。現在本事業の実施に向け、医師会や産後ケア事業者との調整を行っているところである。

問 女性のためのDV相談は、児童虐待のSOSをキャッチする大事な窓口でもあるという認識で、児童虐待のリスクアセスメントを徹底していただきたい。

答 私の中でもDVと聞くと胃が痛み、かきむしられますから、それはぜひこれから徹底をしていきたい。

問 障害者ワークステーションの採用方法は。

答 来年度に向けては、一定期間の実習に重点を置き、特別支援学校や就労援助センターとともに連携しながら採用を進めていきたい。

常任委員会の審査から

予算決算常任委員会

平成30年度決算議案を認定しました

今定例議会では補正議案と決算議案が提出されました。

地方公共団体における「決算」とは一般会計年度の歳入歳出予算の執行結果や実績を表示し、事業の成果を明らかにすることに加えて適正な収入及び支出を明らかにしなければなりません。

このため「決算」は地方自治法

で監査委員の審査を経て、市議会の認定を得ることとなっています。

今回で提出された決算議案は9月19日の委員会、会計管理者から平成30年度決算に対する総括説明を、代表監査委員から審査意見を聴取し、24日からの4日間、各分科会で部局ごとに、提出された一般会計、特別会計及び公営企業

会計の決算書等が正確であるか、また予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているか詳細な審査をしました。

その後、10月3日に開催した委員会で、各分科会委員長から議案の審査経過報告を受け、議案10件のうち3件は全会一致で、5件は賛成多数で認定、2件は賛成多数で可決及び認定しました。(委員長 青木哲正)

総務常任委員会(分科会)

アートウォール設置に関する補正予算等を審査

令和元年度の補正予算として、二万mプロムナード(よこすか海岸通り)活性化のため、新港前の歩道沿いの壁にアートウォール(絵を画いた壁)を設置する費用として1,000万円を計上する提案がありました。SNSによる発信力の強い若者や女性の撮影スポットとして集客効果を高めることに加えて、通勤やウォーキングなどで訪れる地域の人からも親しまれるエリアにすることが目的の事業です。設置場所への案内方法、情

報発信を工夫する必要性、絵画入替え時における柔軟な募集・選考手法の検討など、分科会にて多数の質疑がありました。その後の予算決算常任委員会及び本会議にて補正予算が賛成多数で可決したため、本事業は実施されることになりました。

定例議会後半では、平成30年度一般会計歳入歳出決算の審査を行いました。浦賀プロモーション研究業務における住友重機械工業(株)との連携の有無、同業務にお

ける製作物を状況に応じて見直す必要性、市税滞納繰越額圧縮の成果を得ている



アートウォールイメージ

生活環境常任委員会(分科会)

加速抑制装置の購入・設置の補助金等を審査

前半の令和元年度補正予算の審査では、ペダル踏み間違い時加速抑制装置設置補助制度の創設にあたり市内協力事業者店舗が市内で地域ごとの偏りがないように考慮

ムの検討に加わる必要性などについて質疑があり、採決の結果、原案どおり可決すべきものと決定しました。

後半の平成30年度決算の審査では、市長室が設置されたことに対する所見、防災フェア型防災訓練の来場者増に向けた考え方、震災時避難所用物資の粉ミルクを液体ミルクへ更新する可能性の有無、スクールコミュニティ整備事業の進捗状況、性的マイノリティーに係る啓発ステッカーの配布状況、自然災害発生時における本市の特別警戒体制、救急隊活動用資機材の更新計画の内容、廃棄物処理手数料の不納欠損への対応状況、鉛給水管解消事業の進捗状況、下水道事業の焼却灰搬出処分業務の今後の見通しについてなど多くの質疑が交わされました。

常任委員会では、コンビニエンス・ストア等における印鑑登録証明書交付の費用対効果、市長部局と同様に上下水道局も障害者雇用促進ワーク



アクセルペダル踏み間違い時加速抑制装置補助金チラシ

教育福祉常任委員会(分科会)

一時保護所の子どもたちに明るく整った環境を

補正予算審査では、令和2年4月からの市の施設の使用料改定に当たって、これまで昼夜で異なっていた総合福祉会館の使用料が一律になることでの稼働率への影響や利用拡大の工夫などについて質疑がありました。



学校給食センター(提案時のイメージ画像)

令和3年度開始予定の中学校完全給食に向けた学校給食センター設計・建設等の契約議案については、食中毒の防止や事故発生時における具体的対策、また建設の請負者が市外事業者であることから、地域経済活性化のため市内事業者への下請負発注をどう確実に履行させるかといった質疑がありました。

また、一時保護所に関して、6月に委員会視察を行った際の所見を踏まえて、身体的、心理的に圧迫されてきた子どもたちが安心して生活するためには、明るく、きちんと整った環境が必要であり、来年度に向けて施設修繕料を確保されるよう分科会として希望意見をとりまとめました。

平成30年度決算審査では、今後市民病院が入院診療を再開する可能性、妊婦歯科検診の受診者を増やす方策、犬・猫等の殺処分ゼロに対する見解、健康づくりのための

(委員長 長谷川昇)

都市整備常任委員会(分科会)

中央公園平和モニュメント撤去・新設について

中央公園平和モニュメントは、平成元年5月に核兵器廃絶平和都市宣言を行い、平和思想の普及と平和に関する意識の高揚を図るため総事業費1億4,100万円(内募金額約330万円)を投じて建設されました。

設置後27年が経過し老朽化が進行しているため、公園利用者の安全性を考慮して、令和元年度中に撤去する方針が決定されました。今回モニュメントの内部点検を実施したところ鉄骨部分の錆や腐食が全体に渡っており、特に、基礎

設置後27年が経過し老朽化が進行しているため、公園利用者の安全性を考慮して、令和元年度中に撤去する方針が決定されました。今回モニュメントの内部点検を実施したところ鉄骨部分の錆や腐食が全体に渡っており、特に、基礎

『全国「みどりの愛護のつどい」を中央公園・文化会館での開催を誘致する案が示されました。これは、全国の公園緑地の愛護団体が一堂に集い、都市緑化意識の高揚を図り、緑あふれる環境づくりを推進し、環境保全を積極的に進めることを目的として開催されます。平和モニュメントの新設と合わせて、中央公園の集客と環境づくりに期待します。(委員長 青木秀介)』



中央公園平和モニュメント

令和元年 9 月定例議会・10月臨時議会 審議結果

○=賛成、×=反対

議案番号	賛否が分かれた議案	会 派				無会派				
		未よ 来こ 会す 議か	自 由 民 主 党	公 明 党	日 本 共 産 党	木 下 義 裕	小 室 卓 重	杉 田 惺	は ま の ま さ ひ ろ	藤 野 英 明
		13人	12人	7人	3人					
61	令和元年度横須賀市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	×
62	横須賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
63	文化会館条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
64	ベ이스クエア・パーキング条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
65	印鑑条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
66	コミュニティセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
67	手数料条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
71	適正な土地利用の調整に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	×
72	特定建築等行為に係る手続き及び紛争の調整に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	×
73	開発許可等の基準及び手続きに関する条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	×
78	平成30年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	×	○	○	×
79	平成30年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
81	平成30年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
84	平成30年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
85	平成30年度横須賀市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
86	平成30年度横須賀市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
87	平成30年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※その他議案14件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

【会派所属議員名】 令和元年10月21日現在

よこすか未来会議	伊関功滋 永井真人 小幡沙央里 加藤ゆうすけ 嘉山淳平 工藤昭四郎 小林伸行 高橋英昭 竹岡 力 角井 基 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
自由民主党	大野忠之 渡辺光一 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 松岡和行 加藤真道 西郷宗範 南まさみ 山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
公明党	板橋 衛（議長） 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一 川本 伸
日本共産党	大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

請願・陳情

件 名		結 果
請 願	2 項道路を接続道路とする1,000平方メートル未満の開発許可基準の見直しを求めることについて	不採択
	一体開発を促し、分割開発の規制に実効性のある基準の制定を求めることについて	不採択
	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	不採択
陳 情	町内会に加入していない市民に対する広報よこすかの直接配布について	審査終了
	横須賀市建築物の解体等工事に伴う紛争の未然防止に関する条例の適用基準の緩和について	趣旨不了承
	障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
	配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
	消費税増税の中止及び景気浮揚のための政策実施を求める意見書の提出について	趣旨不了承
	性的多様性の理解促進のための議員研修会の実施について	趣旨不了承

* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記



今回の市議会だよりを皆さんがご覧になっている頃は、12月議会が始まる時期です。今年も残り一カ月ほどとなりますが、全国的に自然災害の影響を大きく受けた年でした。横須賀市議会は緊急時にも議会開催ができる通年議会を導入しており、災害時にも「議会力」は継続していきます。

議会を傍聴してみませんか

令和元年12月定例議会の予定

開催日	会議名
11月27日(水)	議会運営委員会
11月28日(木)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
12月 3日(火)	教育福祉常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
12月 5日(木)	総務常任委員会(予算決算分科会) 生活環境常任委員会(予算決算分科会)
12月 9日(月)	特別委員会(設置された場合に開会)
12月11日(水)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
12月13日(金)	議会運営委員会、本会議(14時)

* インターネットでも中継もご覧になれます。(本会議のみ手話通訳も同時に行っています。)
* 11月29日(金)・12月 4 日(水)・ 6 日(金)・10日(火)・12日(木)は予備日です。
* 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
* 最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。
* 令和元年12月定例議会の請願・陳情の提出期限は11月18日(月)17時です。

令和元年度議会報告会を開催しました！

横須賀市議会では、令和元年7月19日、20日の両日、3会場（産業交流プラザ、生涯学習センター、ヴェルクよこすか）で議会報告会を開催しました。

第1部では、令和元年度予算の概要と審査状況について、各常任委員会からの報告を行いました。また、FM戦略プラン審査特別委員会及びがん対策検討協議会での協議内容の報告などを行いました。

第2部では、「新時代をむかえた横須賀のまちづくりについて」というテーマで、参加者と議員が同じテーブルに座ってワークショップを行いました。参加者からは、災害に強いまちづくりや子どもたちが夢と希望を持てるまちづくり、福祉施策を充実させたまちづくりなど多様な意見が出されました。市議会ではこのようなご意見を市政に反映するため、市民の皆様のために様々な角度から議論して参ります。

